

# 熊木 洋太教授 履歴・業績



# 熊木 洋太 教授 履歴・業績

## 履 歴

1954年1月3日 東京都練馬区生まれ

### [学歴]

1976年3月 東京大学理学部地学科（地理学課程）卒業

1978年3月 東京大学大学院理学系研究科地理学専門課程修士課程修了

### [職歴]

1979年4月 建設省（現国土交通省）入省，国土地理院地理調査部，九州地方建設局河川部，国土庁計画・調整局，国土地理院地理調査部，同測図部，同地図部，同関東地方測量部，科学技術庁研究開発局，国土地理院地理地殻活動研究センター勤務を経て，

2003年4月 国土地理院測地観測センター長

2005年4月 国土地理院地理地殻活動研究センター長

2007年4月 専修大学文学部教授（現在に至る）

2006年度 東京大学空間情報科学研究センター客員教授

2006年5月～2014年9月 日本学術会議（第20期～22期）連携会員

### 【専修大学在職中の主な学会役職歴】

（公社）日本地理学会災害対応委員会委員長

日本地図学会常任委員長，同会長（現職）

（公社）東京地学協会理事

（一社）日本活断層学会代表理事・会長，同監事（現職）

【専修大学在職中の主な社会的活動】

教科用図書検定調査審議会臨時委員

原子力規制委員会 原子力発電所敷地内破碎帯の調査に関する有識者会合委員

国土交通省 益城町の市街地復興に向けた安全対策等検討有識者会議委員長

国土地理院 治水地形判定委員会（関東地区）委員長

産業技術総合研究所 「活断層評価の高度化・効率化のための調査」事業に関する外部評価委員会委員長（現職）

全国地質調査業協会連合会 応用地形判読士資格検定委員会委員長（現職）

電子基準点を利用したリアルタイム測位推進協議会会長

一般公開講演 24回

## 業 績

[主な著書]

活断層研究会編（1991）『新編 日本の活断層—分布図と資料』東京大学出版会（分担執筆）

「現代測量学」出版委員会編（1991）『現代測量学別巻1 実用地図学』日本測量協会（分担執筆）

熊木洋太・鈴木美和子・小原昇編著（1995）『技術者のための地形学入門』山海堂

大矢雅彦ほか9名（1998）『地形分類図の読み方・作り方』古今書院（分担執筆）

日本応用地質学会（1999）『斜面地質学—その研究動向と今後の展望—』（分担執筆）

大矢雅彦ほか9名（2002）『地形分類図の読み方・作り方 改訂増補版』古今書院（分担執筆）

鈴木康弘編（2015）『防災・減災につなげるハザードマップの活かし方』岩波書店（分担執筆）

佐竹健治ほか18名（2016）『地殻災害の軽減と学術・教育』日本学術協力財団（分担執筆）

- 小池一之ほか 8 名編 (2017) 『自然地理学事典』朝倉書店 (分担執筆)
- 日本地理学連合編 (2017) 『地形の辞典』朝倉書店 (編集委員, 分担執筆)
- 「防災読本」出版委員会 (2018) 『教育現場の防災読本』京都大学学術出版会 (分担執筆)
- 森田喬編集代表 (2021) 『地図の事典』朝倉書店 (編集委員, 分担執筆)
- 専修大学文学部環境地理学科編 (2023) 『山地と人間』専修大学出版局 (分担執筆)

### [主な論文]

- 「三浦半島の完新世段丘と完新世の地殻変動」国土地理院時報, 1982
- 「大磯丘陵南縁部の中村原面・前川面の変位について」国土地理院時報, 1982
- 「地形分類と地形地域区分」国土地理院時報, 1982
- 「房総半島南部の完新世段丘に関する若干の<sup>14</sup>C年代測定値について」第四紀研究, 1982
- 「山地地域の地形分類に関する一試案」地図, 1982
- 「跡津川断層周辺の活断層に関する二・三の知見」月刊地球, 1983
- “Geomorphic development and Quaternary tectonic movement in the Shinjo Basin, Tohoku district, Japan” Bulletin of the Geographical Survey Institute, 1983
- “Research and mapping of natural conditions for the development of fishing grounds in the coastal area” Technical Report of the 12th Conference of the International Cartographic Association, 1984
- 「沿岸漁場開発のための自然条件の調査と地図表示」地図, 1984
- “The deformations of Holocene marine terraces in southern Kanto, central Japan” Geographical Review of Japan Ser.B, 1985
- 「数値地理情報に基づく全国沿岸域の特性把握の試み」地図, 1985
- 「讃岐平野南縁, 長尾断層の活動に関する年代資料」活断層研究, 1986
- 「周防灘北部で発見された海底活断層」活断層研究, 1986
- 「房総半島の完新世旧汀線から見た「大正型」関東地震の平均再来間隔」地学雑誌, 1988

- “Natural environment research of coastal sea area from the air” International Archives of Photogrammetry and Remote Sensing, 1988
- 「北部九州のダム基礎岩盤の特色と基礎処理」土木研究所資料, 1990
- 「ダム建設のための応用地学」TAGS, 1990
- 「火砕流台地にみられる浅い開析谷について」TAGS, 1990
- 「北海道南西沖地震災害に関する緊急調査結果」TAGS, 1994
- 「土地利用データ作成技術の現状と課題」国土地理院時報, 1994
- “Geomorphological survey for mass-movement hazard assessment” GeoJournal, 1996
- 「GISの基盤となる空間データの意義とその地図学的問題」地図, 1997
- 「社会に貢献する地理学と大学地理学教育」地学雑誌, 1997
- 「地震防災における地震調査研究の課題, 特に活断層の長期評価について」地形, 1999
- 「相模湾周辺の完新世海成段丘と地震テクトニクス」第四紀研究, 1999
- “Activity of the Headquarters for Earthquake Research Promotion of Japan with special reference to evaluation of active fault activity” Proceedings of the HO-KUDAN International Symposium and School of Active Faulting, 2000
- “Evaluation of seismic activity by the Earthquake Research Committee of Japan” The Second EU-Japan Workshop on Seismic Risk, 2000
- 「地震・地震災害とハザードマップ」地理, 2003
- 「[阪神・淡路]以後, 活断層が引き起こす大地震に備えるための情報発信はどうなったか」現文研, 2008
- 「東日本大震災を経て地理学は何をするか-主として自然地理学の立場から」地理, 2012
- 「東京とその周辺の地形改変」地学雑誌, 2014
- “Geographical study of the disasters in Japan” Geographical Review of Japan Ser. B, 2014
- 「房総半島南東部千倉付近における完新世河成段丘面の形成」専修自然科学紀要, 2019

「最近の自然災害の動向と地理学における災害への取り組み」お茶の水地理, 2020

**[主な学会発表]**

「三浦半島の完新世段丘」日本地理学会1981年度春季学術大会

「南関東沿岸域の完新世段丘と地殻変動」1982年日本第四紀学会研究発表会

「陸奥湾の海底地形・海底埋没地形について」日本地理学会1982年度秋季学術大会

「沿岸漁場開発のための自然条件の調査と地図表示」日本国際地図学会1984年度定期大会

“Some natural disasters in Japan from the geological and geomorphological viewpoint” 3. Seminario Internacional de Ingenieria Sismica y Mitigacion de Desastres Naturales (UNI, Peru, 1984)

“Maps useful for earthquake disaster prevention in Japan” 3. Seminario Internacional de Ingenieria Sismica y Mitigacion de Desastres Naturales (UNI, Peru, 1984)

「数値地理情報に基づく全国沿岸域の特性把握の試み」日本国際地図学会, 1985年度定期大会

「完新世海成段丘からみた南関東の地震性地殻変動」1985年日本第四紀学会研究発表会

「表層崩壊と傾斜変換線」東北地理学会1986年春季大会

「沿岸漁場開発のための環境図集について」日本国際地図学会1986年度定期大会

「サイドスキャンソナーと空中写真による浅海底の面的探査」1986年日本第四紀学会研究発表会

「地すべり・大規模崩壊発生の地形発達史的視点」1987年地すべり学会シンポジウム

「低山地域の地形分類の一例（尾花沢付近）—熊木・鈴木（1982）の案に準じて」東北地理学会1987年春季大会

「沿岸海域広域図について」日本国際地図学会1987年度定期大会

“Natural environment research of coastal sea area from the air” 16th International

- Congress of the International Society for Photogrammetry and Remote sensing, 1988
- “Natural-disaster hazard mapping in Japan” Third Japan-U.S. Science and Technology Workshop on Natural Disaster Reduction, 1992
- 「国土利用計画」の課題について」日本地理学会1993年度春季学術大会
- “Geomorphological survey of landslide hazard” International Congress on Geomorphological Hazards in Asia-Pacific Region,1993
- 「地震による斜面崩壊発生場所の特徴」日本地理学会1993年度秋季学術大会
- 「北海道南西沖地震災害調査図」日本地形学連合1993年秋季大会
- 「海岸地形変化等からみた北海道南西沖地震時の奥尻島の地殻上下変動」1993年度日本地震学会秋期大会
- 「地形分類図としての 1 : 30,000 火山土地条件図「阿蘇山」」日本地理学会1994年度春季学術大会
- 「六甲山地周辺の活断層と地変」1995年兵庫県南部地震調査速報会（日本第四紀学会・第四紀研究連絡委員会）
- 「阪神・淡路大震災における国土地理院の地図分野の活動」日本国際地図学会1995年定期大会
- 「社会に貢献できる地理学に向けて」日本地理学会1996年度春季学術大会
- 「国土地理院が整備する「空間データ基盤」について」日本地理学会1996年度春季学術大会
- 「相模湾周辺の完新世海成段丘と地震性地殻変動」1998年日本第四紀学会大会
- 「地震防災における地震調査研究の課題」日本地形学連合1998年秋季大会
- “Evaluation of seismic activity by the Earthquake Research Committee of Japan”  
The Second EU-Japan Workshop on Seismic Risk , 1999
- “Introduction of “Manual for zonation on Area Susceptible to Rain-induced Slope Failure” International Workshop on Geotechnology for Natural Hazards,1999
- “Activity of the Headquarters for Earthquake Research Promotion of Japan with special reference to evaluation of active fault activity” HOKUDAN International Symposium and School of Active Faulting, 2000



“Seismotectonics as inferred from Holocene former shorelines”. Fifth International Conference on Geomorphology, 2001

「実社会の課題に対する地理学・地理教育の有用性」日本地理学会2001年秋季学術大会

「地震に対するハザードマップ」日本地理学会2003年度春季学術大会

「新潟県中越地震をはじめとする最近の地震災害と地震の評価・対策の課題」日本地理学会2005年度春季学術大会

“Two types of coseismic uplift shown by raised former shoreline data along the subduction zone of the Philippine Sea Plate”. The 6th Joint Meeting of the UJNR Panel on Earthquake Research, 2006

「地球惑星科学における地図・空間表現の意義」日本地球惑星科学連合2007年大会

「地球惑星科学における空間表現と空間構造」日本地球惑星科学連合2008年大会

“Network-RTK GPS Positioning in Japan” International Symposium on GPS/GNSS 2008

「現代における地図の役割と利用」地域地理科学会第19回大会, 2009

「地図で広がる学びの輪—学校でいろいろと地図を使おう」日本国際地図学会平成2009年度定期大会

“Network-RTK GPS Positioning and its application to mapping in Japan” 24th International Cartographic Conference, 2009

「「地理」と防災教育」2010年日本地理学会春季学術大会

「黒部川扇状地圃場整備前地表面等高線図（籠瀬良明による）における断層変位地形の表現」日本地球惑星科学連合2010年大会

“For the expansion of map usage in school—Working Group on the Promotion of Map Usage in Schools” 25th International Cartographic Conference, 2011

「災害と地図—大震災時に地図はどのように使われたか」日本国際地図学会2011年度定期大会

「旧版地形図を用いた大正関東地震前の三浦半島南部の海岸線を復元する試み」2011年日本地理学会秋季学術大会

「東日本大震災—自然地理学は何をするか」日本地理学会公開シンポジウム, 2012  
「地図リテラシー普及のため, 学校でもっと地図を使おう」日本地球惑星科学連  
合2012年大会

「数値地図 25000 (土地条件) を用いた首都圏の人工改変地の分布特性」2012年  
日本地理学会秋季学術大会

「地形・地質学における「活断層」の認識」日本活断層学会2013年秋季学術大会

「東日本大震災に対する日本地理学会の取り組みと学協会の災害対応のあり方」日  
本地球惑星科学連合2014年大会

「地理学における水害の研究および2015年9月関東・東北豪雨災害に対する日本  
地理学会の取り組み」日本地球惑星科学連合2016年大会

「国土交通省都市局による益城町市街地の活断層調査の意義」JpGU-AGU Joint  
Meeting 2017

“Geomorphological maps as the basis of hazard mapping in Japan” 29th Interna-  
tional Cartographic Conference, 2019

「首都圏の震災調査に関する地理学者の貢献」2023年日本地理学会春季学術大会

#### [その他主なもの]

“Landslides in Japan.” The Japan Society of Landslide and National Conference of  
Landslide Control, 1988 (共著)

“Manual for Zonation on Areas Susceptible to Rain-induced Slope Failure” The  
Japanese Geotechnical Society, 1997 (共著)

『スマトラ沖大地震及びインド洋津波被害政府調査団調査報告書』2005 (共著)

『GISを用いた地形改変地の震災土地条件調査』(財)日本建設情報総合センター  
研究助成事業報告書, 2008 (共著)

1:25,000活断層図「阿蘇」「日奈久」「船津」「中条」「枳尾」「越後湯沢」「満島」  
国土地理院, 2017~2023 (いずれも共著)